

団体名	たるBOOK			
事業名	小樽に紙芝居の文化を根付かせよう 2020			
実施期間	令和2年6月20日～10月25日			
事業の目的及び期待する効果	紙芝居という手法で「本との出会い」を作り、さらに、本への関心を深めるきっかけにして、小樽市民が「いつでも・どこでも・だれもが」本と親しめることを目的とし、その結果、本から学ぶ楽しさを知り、心豊かな市民が増えることが期待できる。			
実施額	事業費	229,545 円	助成額	120,000 円
事業内容	<p><b>1 勉強会</b>  <b>【開催日】</b>6/20(土)、7/25(土)、8/22(土)、9/12(土) <b>【場所】</b> 自宅、レピオ、北ぢぞう  <b>【参加人数】</b> 第1回 15名、第2回9名、第3回7名、第4回6名  <b>【開催内容及び状況】</b>          ・発声練習、黙読、読み練習、発表          ・毎回、予習復習をしてきて、とても熱心だった。また、お互いの発表を見ることで更に勉強になった。</p> <p><b>2 子ども向け紙芝居</b>  <b>(1)小学校</b>  <b>【開催日】</b> 10/22(木) <b>【場所】</b> 忍路中央小学校  <b>【参加人数】</b> 教職員7名、児童 14名  <b>【開催内容及び状況】</b>          ・紙芝居師による紙芝居の実施(「ダンゴムシころちゃん」他2本)          ・感想から、物語の世界に浸っていたのがよくわかった。子どもたちの心を捉えていた。</p> <p><b>(2)中学校</b>  <b>【開催日】</b>10/22(木)、23(金) <b>【場所】</b>西陵中学校  <b>【参加人数】</b> 教職員6名 生徒 167名  <b>【開催内容及び状況】</b>          ・各学年とも、紙芝居師による紙芝居の実施(「やまんばのにしき」他8本)          ・人数が多かったので、プロジェクターを使い、大きなスクリーンで見ることが出来た。          ・生徒たちは、真剣に集中して見ていた。</p> <p><b>3 親子が楽しむ紙芝居実施</b>  <b>【開催日】</b>10/24(土) <b>【場所】</b>生涯学習プラザレピオ <b>【参加人数】</b>24名  <b>【開催内容】</b>          ・紙芝居師による紙芝居の実施(「いなばのしろうさぎ」他5本)          ・子どもたちの楽しそうな様子が伝わってきて、本当に開催してよかったと感じた。</p> <p><b>4 大人が楽しむ紙芝居</b>  <b>【開催日】</b>10/24(土) <b>【場所】</b>生涯学習プラザレピオ <b>【参加人数】</b>23名  <b>【開催内容】</b>          ・紙芝居師による紙芝居の実施(「雪わたり」他3本)          ・会場のあかりを少し落として、暖かい雰囲気を出しながら実演したが、皆さんもリラックスしながら聞き入り、とても楽しんでいる様子が伝わった。</p> <p><b>5 紙芝居講習会</b>  <b>【開催日】</b>10/25(日) <b>【場所】</b>生涯学習プラザレピオ <b>【参加人数】</b>12名  <b>【開催内容及び状況】</b>          ・紙芝居実演のための基本・注意点などの講義、実践練習          ・後半はひとり一人発表し3年間の総まとめになり、今後の活動の活力になったと思う。</p>			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください。

## ◎事業の日程について

2 / 2

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
6月～9月	勉強会	100名	37名
10月22日(木)・23日(金)	小、中学校訪問	—	194名
10月24日(土)	大人が楽しむ紙芝居	30名	23名
10月24日(土)	親子で楽しむ紙芝居	20組	14組24名
10月25日(日)	紙芝居講習会	10名	12名

## ◎事業評価について

<p>1. 事業の目的の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度の「勉強会」は、通年で月1回を予定したが、コロナ禍のため後半11月からの予定は中止にしたのが残念だった。助成金事業以外の場で勉強会開催も可能ではないかと思い、皆さんにも了解してもらった。</li><li>・自宅で練習し、自分の職場で紙芝居をして喜んでもらえたという報告もあり、それぞれができる範囲の中で活動しているのが本当に良かったと思う。</li><li>・学校での公演は、とても喜んでもらえて、ぜひ、来年もと言われた。児童・生徒の皆さんがどんどん紙芝居に惹きこまれ、集中している様子がよく分かった。</li></ul>
<p>2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・初めて参加した方は、こんなに楽しいとは思わなかったという感想だった。</li><li>・リピーターの方も、毎回楽しみにしていると言って、来年も又見たいと言っていた。</li><li>・講習会受講者は、具体的なアドバイスをしてもらえたので、今後の活動に役立つと思う。</li></ul>
<p>3. 今後の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3年間の助成期間が終るので、今後はどのように資金を調達しながら活動していくか、じっくり考えたいと思う。</li><li>・紙芝居の世界を知ることによって、大人も子どもも「本の世界」に浸るきっかけになるように、今後も一つのツールとして活用していきたいと思う。</li><li>・老人施設で喜んでもらえているので、コロナ禍が落ちついたら、積極的に活動していきたいと思う。</li></ul>
<p>4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・紙芝居は、乳幼児から児童生徒や大人、お年寄りにも楽しんでもらえるので、市役所内の福祉・教育関係の皆さんに告知してほしい！</li></ul>